

# FUTABA

第103期(2017年3月期)  
決算説明資料  
新5カ年計画の進捗

2017年5月17日  
フタバ産業株式会社  
(#7241)

---

## ・新5カ年計画の進捗

1-1 新5カ年計画の概要

1-2 計画遂行の基盤策定

2-1 2016年度の振り返り

2-1-1 マネジメント改革

2-1-2 生産拠点の最適化

2-1-3 新技術・新事業

2-1-4 働き方改革・意識改革

2-1-5 環境・社会活動・コーポレートガバナンス

3-1 2017年度方針

## 1-1 新5カ年計画の概要

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
体制整備	計画の確実な実施	計画の確実な実施	計画達成の目途付け	計画達成

「よい品、より安く」を基本とした  
新たな成長ステージ

### 基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

### 基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「挑戦する人の集団」

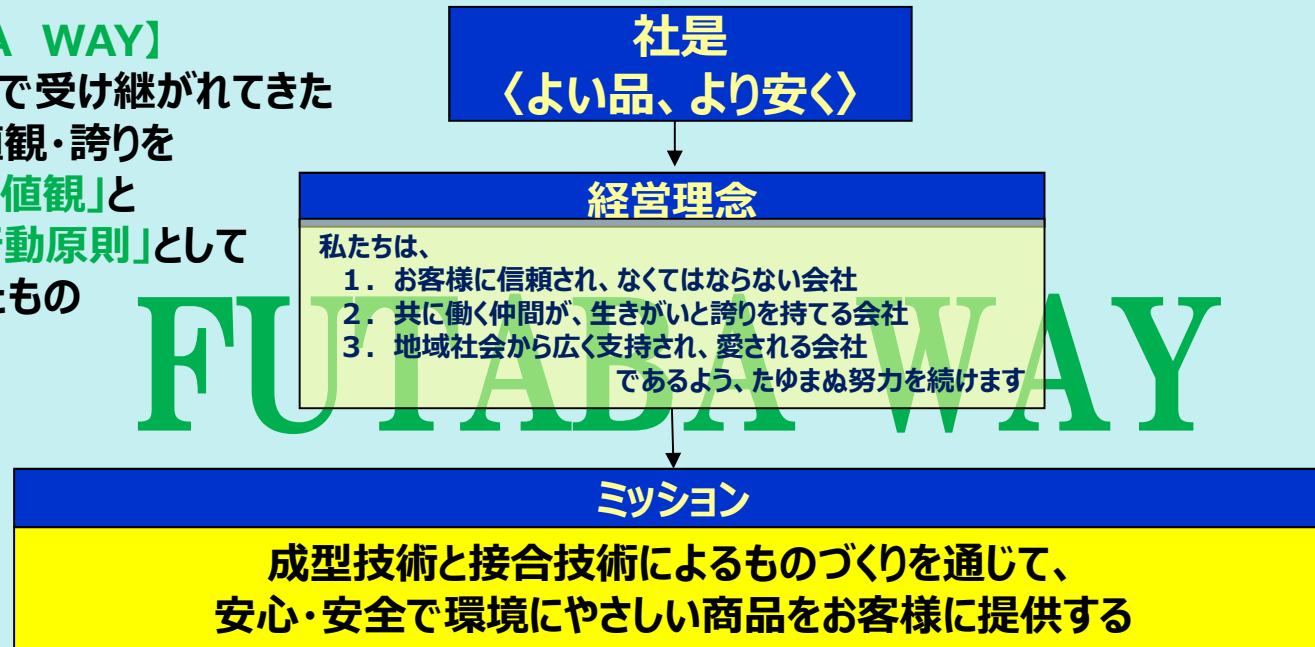
「モノづくりで社会に貢献」

「新しい価値を世界へ提供」

## 1-2 計画遂行の基盤策定(FUTABA WAY)

### 【FUTABA WAY】

フタバの中で受け継がれてきた  
信念・価値観・誇りを  
「共通の価値観」と  
「基本的行動原則」として  
明文化したもの



### 創業以来大切にしてきた2本柱と5つのキーワード



現状に満足せず、より高い目標の達成を目指してその  
ために知恵を絞り続けること



お客様、取引先、関係会社、従業員等あらゆるフタバ  
の関係者を尊重するとともに、  
従業員の成長を会社の成果に結びつけていくこと

## 2-1 2016年度の振り返り

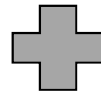
### ・2016年度方針及び重点取組みの概要（体制整備に注力）

年度方針	重点取組み
1. マネジメント改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 意思決定プロセスの見直し</li> <li>➤ 排気系、ホデー系の新開発体制</li> <li>➤ 開発～生産までの組織見直しによる効率化</li> </ul>
2. 生産拠点の最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ FIGの設立</li> </ul>
3. 新技術・新事業への取組み強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ホットスタンプのグローバル展開</li> <li>➤ 超ハイテンプレス加工技術の手の内化</li> <li>➤ 農作物光合成促進装置の事業化</li> </ul>
4. 働き方改革と意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 間接部門の生産性向上</li> <li>➤ 帰属意識の向上と社内教育の拡充</li> </ul>
5. ESGを通じた会社の成長と競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 環境活動、社会活動の継続</li> <li>➤ コーポレートガバナンスに則った経営の適正化</li> </ul>

2-1-1 マネジメント改革

経営の意思決定プロセスの見直し

これまでの  
現場を中心としたものづくり改革



< 第2ステップへ >  
**マネジメント改革**  
— 経営判断の迅速化 と 責任と権限の明確化 —



見直しの方針

収益管理構造の見直し

・原価会議、原価企画会議による予算管理の強化

目的に応じた会議体の見直し

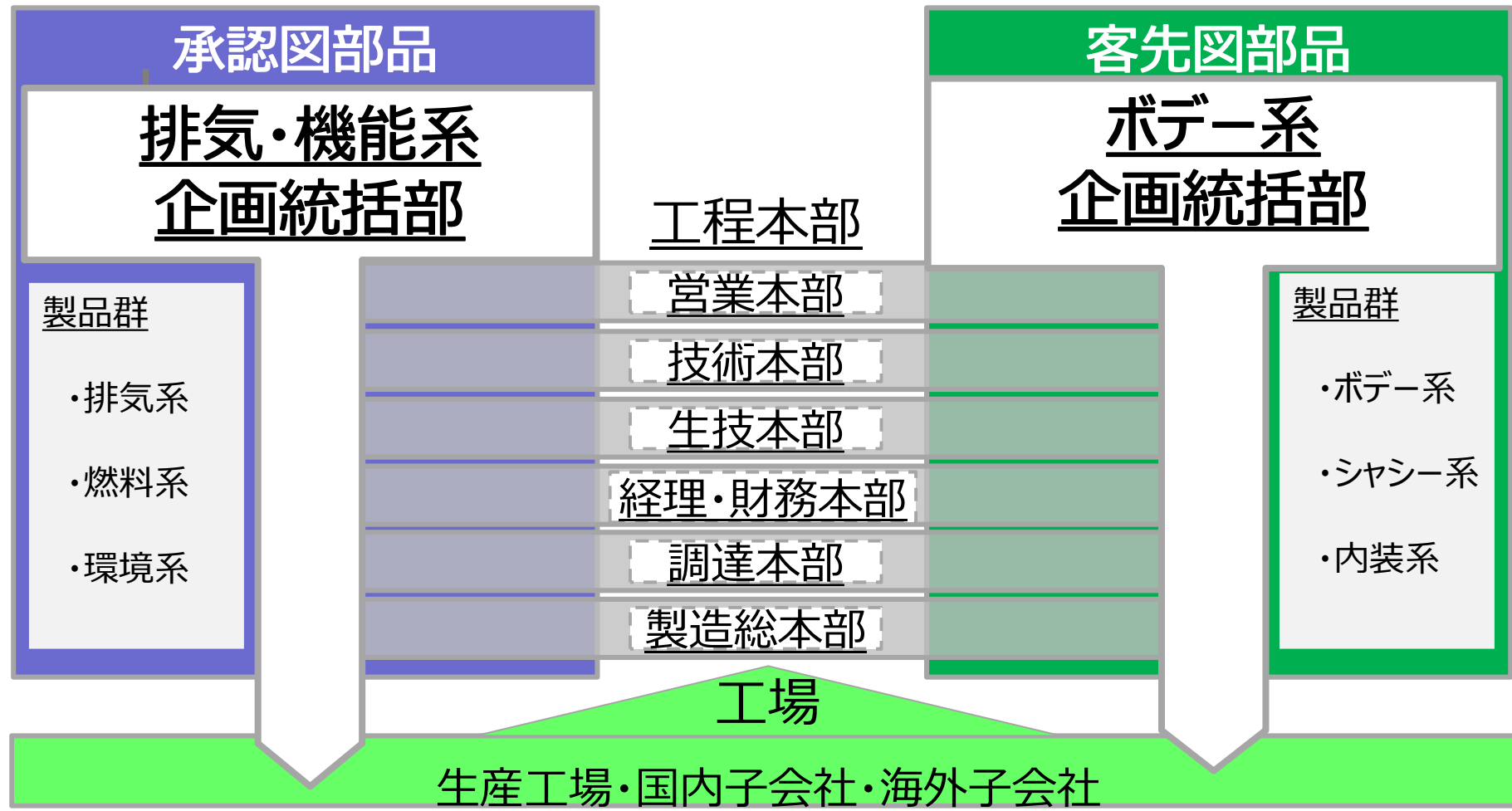
・報告会議と決裁会議を整理し、位置付けの明確化と経営の効率化

決裁方法の見直し

・業務決裁と支払決裁を分け仕事の内容決裁重視へ変更

2-1-1 マネジメント改革（ものづくりプロセス改革）

- ・開発～生産までの一気通貫による効率化体制の確立（疑似事業部制）



2-1-2 生産拠点の最適化

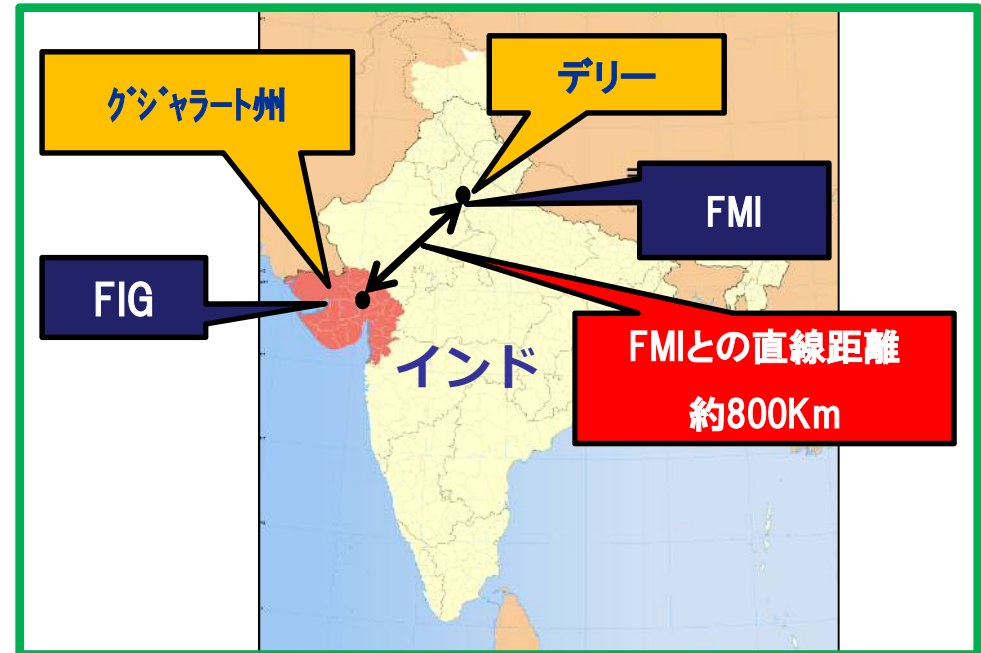
・拡大するインド自動車市場の対応と現地顧客ニーズに応える

↓

**FIGの設立**

＜工場の概要＞

- (1)敷地面積 約20,000m<sup>2</sup>
- (2)従業員 160名 (2020年度予定)
- (3)生産開始 2018年10月 (予定)
- (4)ロケーション スズキ(株)様グジャラート工場のオンサイト



**2018年10月稼働に向け順調に  
工場建設開始（地鎮祭終了）**



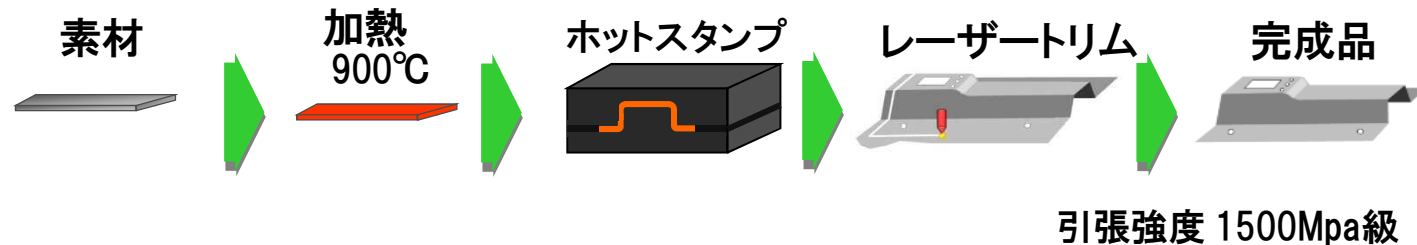


## 2-1-3 新技術・新事業 ・ホットスタンプ工法の取組み

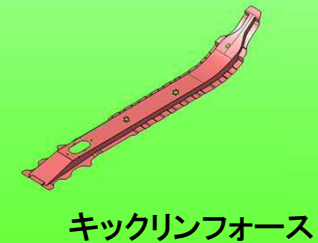
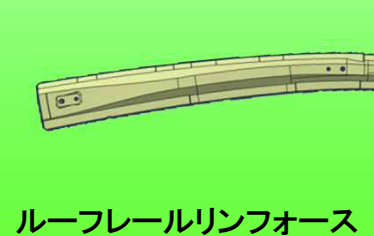
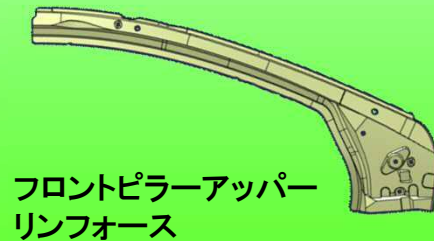
### 取組み背景・客先ニーズ

- ・衝突安全性と車体軽量化の両立でボデー部品の高強度薄肉化が必要  
(引張強度1500Mpa級)
- ・加工難易度の高い形状に対応できるホットスタンプ工法が必要
- ・専用設備（加熱炉+プレス機）の必要性から増資を実施

### 工法



### 量産中 部品



## 2-1-3 新技術・新事業

### ・ホットスタンプライン導入工場及び進捗

・六ツ美工場：2ライン稼働中

生産品目：フロントピラー、ルーフレール、他



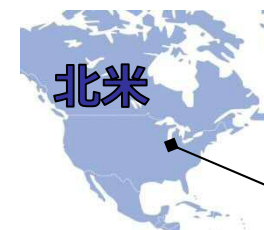
・幸田工場：工場建設完了、プレスライン設置開始

2019.3月期稼働に向け順調に準備中



・FIO:工場建設8月完成予定で推進中、完成後プレスライン設置

2019.3月期稼働に向け順調に準備中



FIO(カナダ)



## 2-1-3 新技術・新事業

### ・ 冷間超ハイテン開発状況

#### 取組み背景・客先ニーズ

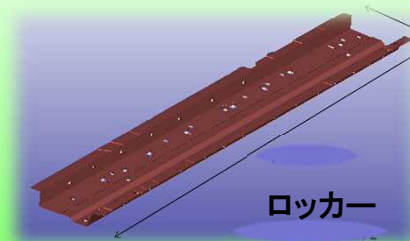
- ・高強度でありながら生産性の高い、超ハイテン材の冷間プレスが必要  
(冷間1200Mpa級材)
- ・既存プレス設備で生産する事を前提とし、新規投資を抑制
- ・業界に量産活用事例が少なく、部品加工技術確立で優位に立つ

#### 量産中 部品

- ・直線曲げ形状
- ・三河生産

#### 現在開発中 部品

- ・自由形状
- ・グローバル生産



トヨタ自動車(株)様  
プロジェクト表彰受賞



#### 克服課題と今後

- ・材料が伸びない為割れやすく、寸法精度確保に時間がかかっている
- ⇒精度確保時間の短縮と更なる高引張強度材料の技術確立

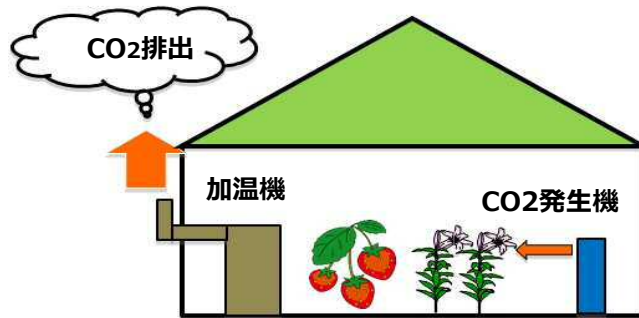
## 2-1-3 新技術・新事業

### ・ハウス栽培用CO2貯留・施用装置

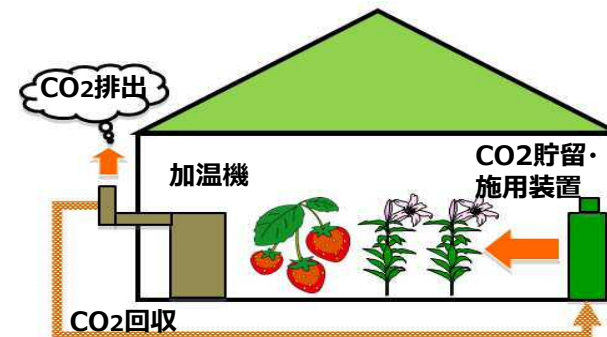
#### 1. システムの概要

ハウス栽培において、夜間に加温機から排出されるCO2を回収・貯留し、昼間に貯留したCO2を施用することができるシステム

従来



当社システム



制御ユニット(左) 吸着タンクユニット(右)

## 2. 2016年度実績

### モニター装置の設置 全19台

<2016年度モニター装置導入のお客様>

- ・愛知県を中心に一般の農家、農業法人等で実施

<栽培品目>

- ・いちご、トマト、ピーマン、大葉、キク

#### ◆「収穫量の増加」

「サイズの大きい作物が増えた」

「においがしないので作業環境がよい」

など高評価



**自動車分野の技術を農業分野に活用しCO2削減に貢献  
今年夏頃に一般販売予定**



## 2-1-4 ①働き方改革


### ・**全社規模での生産性向上活動**

- ・工場はものづくりで生産性向上を進めてきた
- ・間接部門は昨年度に着手した  
(働き方改革の旗のもと、総労働時間抑制の取組み)

### ・**働き方改革の取組み**

▼ **KPI** : 所定外労働時間の削減に向けた活動 (2016年5月～継続中)

- ・ ノー残業デーの導入 ・ 残業目標時間の設定

- 
- ・ **力づくでなく、業務内容を見つめ直すことが必要**
    1. 仕事の意味を理解し、仕事の質を上げる
    2. 業務の改廃 (ムダな業務、重複業務の排除)
    3. 会議体の整理と時短



**KPI**  
**残業低減36%**  
**(2015年度比)**

◎ **2017年度は現場間接業務のIT化を進める**

2-1-4 ②自ら考える人材の育成

・グローバルで通用する人材育成

1. 当事者意識を持って業務に取り組む
2. 仕事の意味を理解する
3. 自分で考え行動する
4. 悪い情報ほど優先的に報告する (BAD NEWS FIRST)

人材教育  
・問題解決手法  
・階層別教育

予算管理

決裁プロセス  
改革

ものづくり  
プロセス改革

FUTABA  
WAY

学習し成長する組織

## 2-1-5 ①環境・社会活動

2016年度 会社方針	事業活動を通じた社会貢献による 会社の持続的成長と競争力の向上
本業での活動	<p>&lt;環境規制に対応する製品開発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2削減 : ボデー部品の軽量化（超ハイテン材） 排気熱回収器、家庭用燃料電池</li> <li>・騒音低減 : 小型軽量マフラーの開発</li> <li>・ガソリン蒸気排出量削減 : 高性能キャニスターの開発</li> </ul>
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度CO2排出量目標 : 2013年度実績の6%削減 製造部門実績 : 10%削減</li> <li>・2016年度廃棄物排出量目標 : 2013年度実績の30%削減 実績 : 30%削減</li> </ul>
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会貢献（交通安全立哨、ボランティア清掃活動等） 北米、欧州、アジアの拠点も同様な活動を実施</li> <li>・フタバ産業旗争奪少年野球大会の開催</li> <li>・森づくり活動（岡崎市森林整備ビジョンに賛同）</li> </ul>

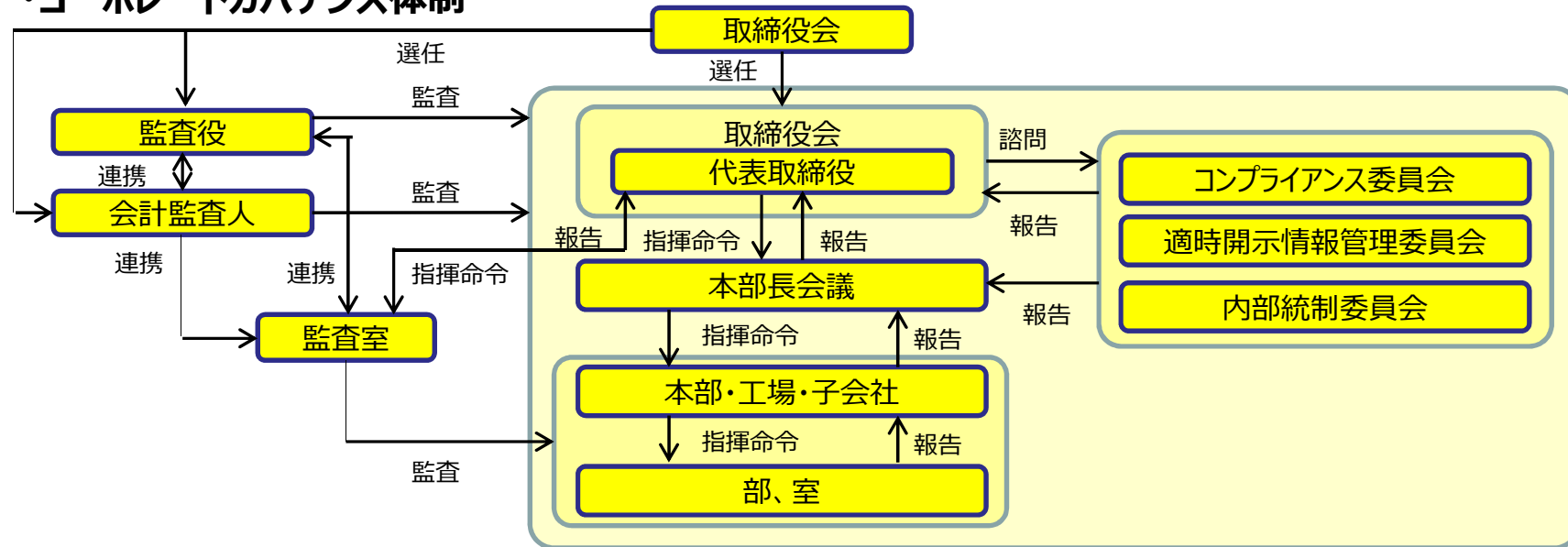


## 2-1-5 ②コーポレートガバナンス

### <目的>

健全で強い企業を作るため、多様なステークホルダーの視点から経営の適正化を図る

### ・コーポレートガバナンス体制



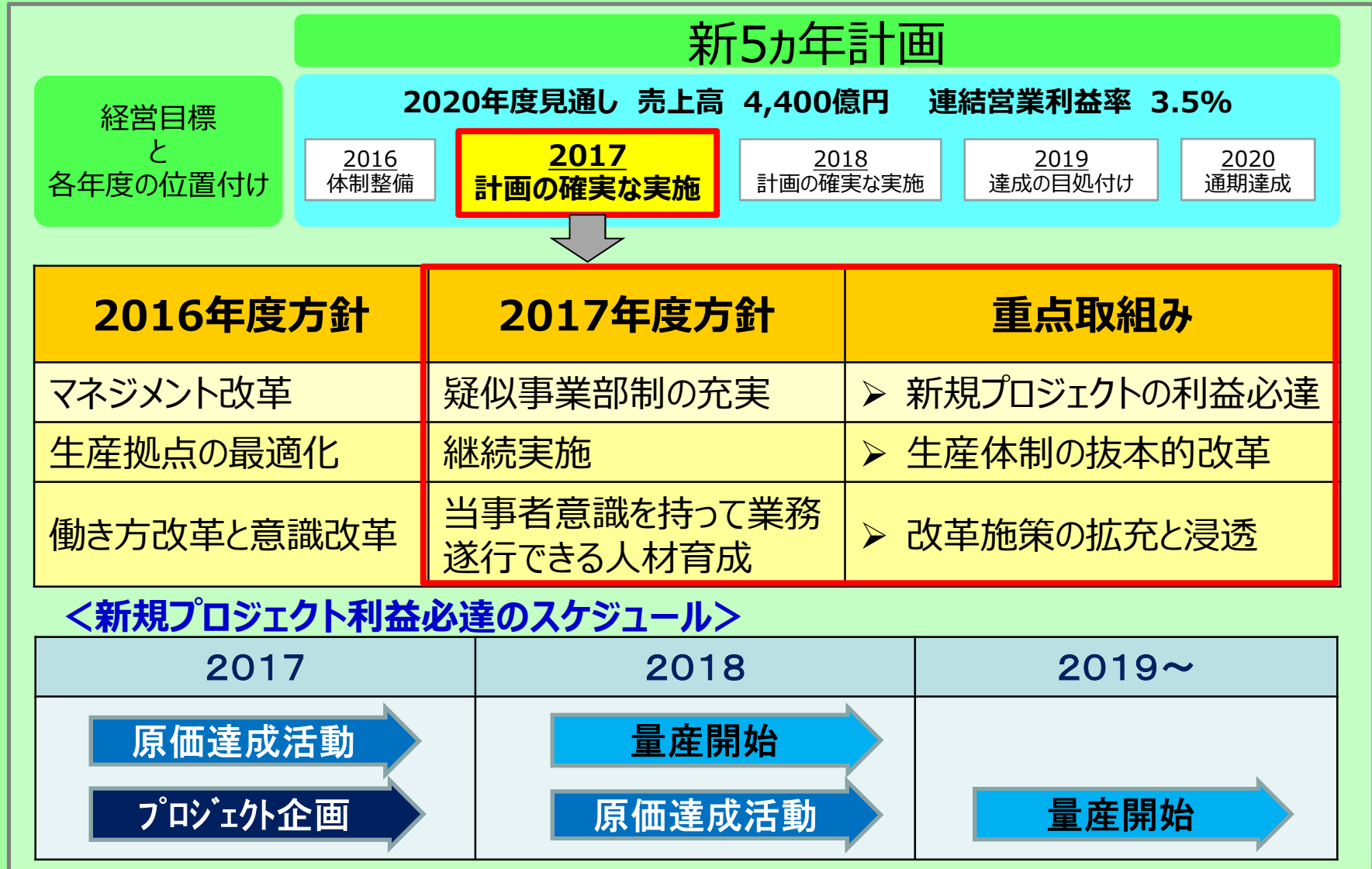
### ・コーポレートガバナンス・コードへの対応

コードの各原則についてすべてを実施

### <2016年度の変化点>

トヨタ自動車(株)様の関連会社になり、管理水準の強化によるガバナンス向上

3-1 2017年度方針



# FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>